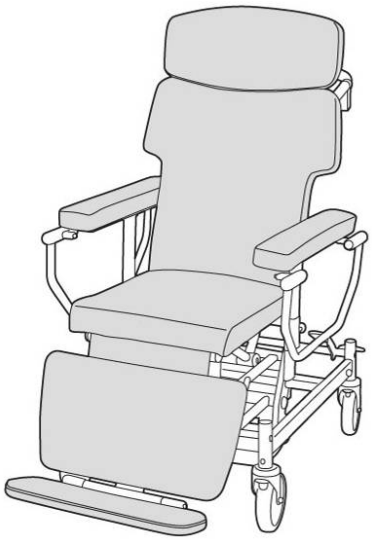
着衣チェア

CBT－１００

SAKAImed

取 扱 説 明 書



ご使用になる前に …… 2
- 安全上のご注意 …… 2
- 各部の名称 …… 9
- 始業点検について …… 11

操作方法 …… 13
- キャスター …… 13
- 上昇・下降 …… 15
- 充電 …… 16
- リクライニング …… 17
- フットサポートの調節 …… 19
- レッグサポートの調節 …… 20
- ヘッドサポートの調節および取り外し …… 21
- アームサポート（肘）の調節 …… 24
- サイドバーの調節 …… 25
- チルト機構 …… 26
- 脱衣・着衣作業 …… 28

日常のお手入れ …… 29
- お手入れ …… 29
- 清掃 …… 29

このようなときは …… 30

機器について …… 32
- 保守・点検 …… 32
  - ・保証とアフターサービス …… 32
  - ・保証書と保証期間 …… 32
  - ・修理をご依頼いただく場合 …… 32
  - ・耐用期間 …… 33
  - ・損耗品 …… 33
  - ・保守用性能部品の保有期間 …… 33
- 仕様 …… 34

●このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

●「取扱説明書」は
・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・１部を保存用として、大切に保管してください。

01-210①Q6

用 途

本製品は、入浴前後の脱衣・着衣介助や、浴室と居室間の搬送を行うための車椅子です。

特 長

●移乗や介助がしやすい昇降式

座面が昇降しますので、低くすれば乗り降りや立ち上がりが行いやすく、また高くすればストレッチャー状態での着衣介助作業や入浴用担架へのトランスファーが行いやすく、身体負担を軽減します。

●着衣作業に適したフルフラットシート

バックサポートを水平位置まで倒すと、全てのシート面がフルフラットになるため、寝たままでの着衣介助を容易に行なうことができます。

●豊富なポジション調節

バックサポートのリクライニング、チルト機構、ヘッドサポートの奥行き、角度など、調節可能部位は 9 種類。乗る方の体格や身体機能に合わせた、きめ細かなフィッティングが可能です。

ご使用になる前に

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、
必ずお守りください。

表示について

危険や損害の程度を以下に区分し、表示しています。

⚠ 危険	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負うことに至る」**ことを示しています。
⚠ 警告	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**ことを示しています。
⚠ 注意	取り扱いを誤ると、**「傷害または物的損害の発生が想定される」**ことを示しています。

絵表示の意味

禁止	行為を禁止することを示した表示です。
強制	必ず実行していただくことを示した表示です。

その他の表示

お願い	製品を使用する上で留意していただくことを示した表示です。
参考	参考にしていただくことを示した表示です。

ご使用になる前に／安全上のご注意

使用環境

⚠警告

本製品は屋内専用です。屋外では使用しない

本製品の使用可能体重は 100kg まで

ストレッチャー状態、車椅子状態を問わず、階段、エスカレーターでは使用しない

スロープなど傾斜のある場所での使用は十分に注意し、傾斜の強い場所は必ず、後ろ向きで走行させる。また、傾斜のある場所に本製品を停止させない。

⚠注意

二人以上で使用しない、また人以外の重い物を絶対に乗せない

本製品は一人用の設計です。

火気（ストーブ、たばこの火等）に近づけて使用しない

水がかかる場所や、湿気の多い場所での長時間放置をしない、またシャワー等で直接水をかけない

感電や故障、サビの原因となります。

移乗

⚠警告

移乗方向（頭と足の向き）を間違わない

リクライニング操作等を行ったとき、乗っている人が落下しけがをする恐れがあります。

ストレッチャー時、ヘッドサポート部およびレッグサポート部に絶対に腰掛けない

車椅子状態で乗り降りするとき、フットサポートを踏み台として使用しない

本体が転倒し、けがをする恐れがあります。

ストレッチャーの下空間に人や物が入り込んでいないか十分に確認する

足や頭を打ったり、挟まれたりしてけがや思わぬ事故の原因となります。

⚠注意

濡れた身体のままの移乗は極力しない

クッション等の故障の原因となります。

キャスター

⚠警告

以下のときはキャスターを必ず固定する

・人を乗せ降ろすとき

・移動した後

・本製品の上で介助作業（移乗、脱衣、着衣等）をするとき

・リクライニング操作、チルト操作を行うとき

・昇降させるとき

固定していないと動き出し、事故の原因となります。

トータルロックフットペダルのロック操作は必ず足で行う

手で行うと指をはさむなどしてけがをする恐れがあります。

⚠注意

走行中にキャスターのロック操作は行わない

キャスターロックは、走行中の着衣チェアを停止させるための設計になっていません。

上昇・下降

⚠警告

必ずキャスターがロックしていることを確認して高さ調節を行う

ロックされていない場合、高さ調節中に動き出し、けがや思わぬ事故の原因となります。

昇降中は乗っている人や本製品の回りに十分注意を払う

本製品の前後に十分な間隔があることを確認して、昇降操作を行う

足や頭を打ったり、挟まれたりしてけがや思わぬ事故の原因となります。

下降操作時、ストレッチャーの下空間に人や物が入り込んでいないか十分に確認する

挟まれたりしてけがや思わぬ事故の原因となります。

リクライニング・チルト機構

⚠警告

操作前に必ずキャスターがロックしている事を確認する

リクライニングやチルト中に動き出し、けがや思わぬ事故の原因となります。

操作中は、周囲の人や乗っている人に十分注意する

ストレッチャーから車椅子に変換する操作は必ず両手で行う

急激に作動したり、可動部に指を挟んだりして思わぬけがをする恐れがあります。

車椅子からストレッチャーに変換する前に、チルト機構を必ず元の位置に戻す

頭が下がった状態になり大変危険です。

車椅子からストレッチャーに変換する前に、レッグサポート角度を必ず下げる

連動するため、足元が上がりけがや思わぬ事故の原因となります。また、機器破損の原因となります。

車椅子からストレッチャーに変換する前に、ヘッドサポートを必ず最下端に下げる

移乗の際、頭部がバックサポートとヘッドサポートの間に落ち込み、けがや思わぬ事故の原因となります。

変換操作時､ストレッチャーの下空間に人や物が入り込んでいないか十分に確認する

足や頭を打ったり、挟まれたりしてけがや思わぬ事故の原因となります。

チルト機構の操作は必ず両手で行い、周囲の人や乗っている人に十分注意する

操作時に人に当たったり、可動部に手や足を挟まれ思わぬけがをする恐れがあります。

⚠注意

すべての操作は、事前に乗っている人に声をかけて、ゆっくり行う

ストレッチャーから車椅子に変換する際、フットサポートを最短位置まで縮める

フットサポートが床に当たり、故障の原因となります。

レバーをはじくように、はなさない

故障の原因となります。

フットサポート、ヘッドサポート、レッグサポート、アームサポート（肘）

⚠警告

フットサポートの上下操作は必ず両手で行う

けがや思わぬ事故の原因となります。

フットサポートは 0° と 90° の中間点で使用しない

急にフットサポートがたたまったり、起き上がったりして、けがや思わぬ事故の原因となります。

レッグサポートの角度操作は必ずフットサポートを片手で支えた状態で行う

レバーのみ操作すると、急激な角度変化により乗っている方に不安を与えたり、思わぬ事故や故障の原因となります。

⚠注意

ヘッドサポートの上下操作、奥行きおよび角度調節操作は必ずヘッドサポートを支えて行い、グリップを締めるまで手を離さない

ストレッチャー状態で人が乗っている場合は、落下防止のため、必ずアームサポート（肘）を上げる

アームサポート（肘）のみを持って動かさない

アームサポート（肘）を下げるときは、アームサポート（肘）を持って支え、高さ調節つまみを引く

高さ調節つまみのみを引くと、アームサポート（肘）が落下し、けがや故障の恐れがあります。

アームサポート（肘）を調節するときは、パイプや穴にさわらない

パイプや穴に指を挟んで思わぬけがをする恐れがあります。

サイドバー

⚠警告

ストレッチャー状態のときは必ずサイドバーを上げる

落下してけがをする恐れがあります。

サイドバーを上げたら、確実に上がり固定していることを確認する

⚠注意

サイドバーの上に座らない

故障の原因となります。

サイドバーを下げるとき、手指の挟み込みに注意

サイドバーのみを持って搬送しない

故障の原因となります。

充電

⚠警告

電源コードの被覆等に異常がないか確認する

被覆に損傷があると、ショートや発熱による発火や感電の恐れがあります。

電源は必ずAC/100Vのコンセントを使用する

⚠注意

電源プラグのたこ足配線をしない

電源は、家庭用電源コンセント（AC100V）から直接取ってください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに　必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

破損の恐れがあります。

感電防止のため、アースは必ず接続する

アースは、次の所へは接続しない

・ガス管　・水道管　・避雷針　・電話線

その他

⚠警告

クッションの上に立ち上がったり、飛び跳ねたりしない

倒れたり、壊れたりしてけがをする恐れがあります。

車椅子状態での搬送は、昇降の最低位置で行う。ストレッチャー状態での搬送は、極力低い位置で行う

転倒して、けがをする恐れがあります。

分解、改造しない

⚠注意

各部に、刃物や角張った物を当てない

ウエイトトレーニングやリハビリ用具としての使用はしない

ウエイトトレーニングやリハビリ用具として設計されていません。

各部品の欠落、異常がある場合は使用しない

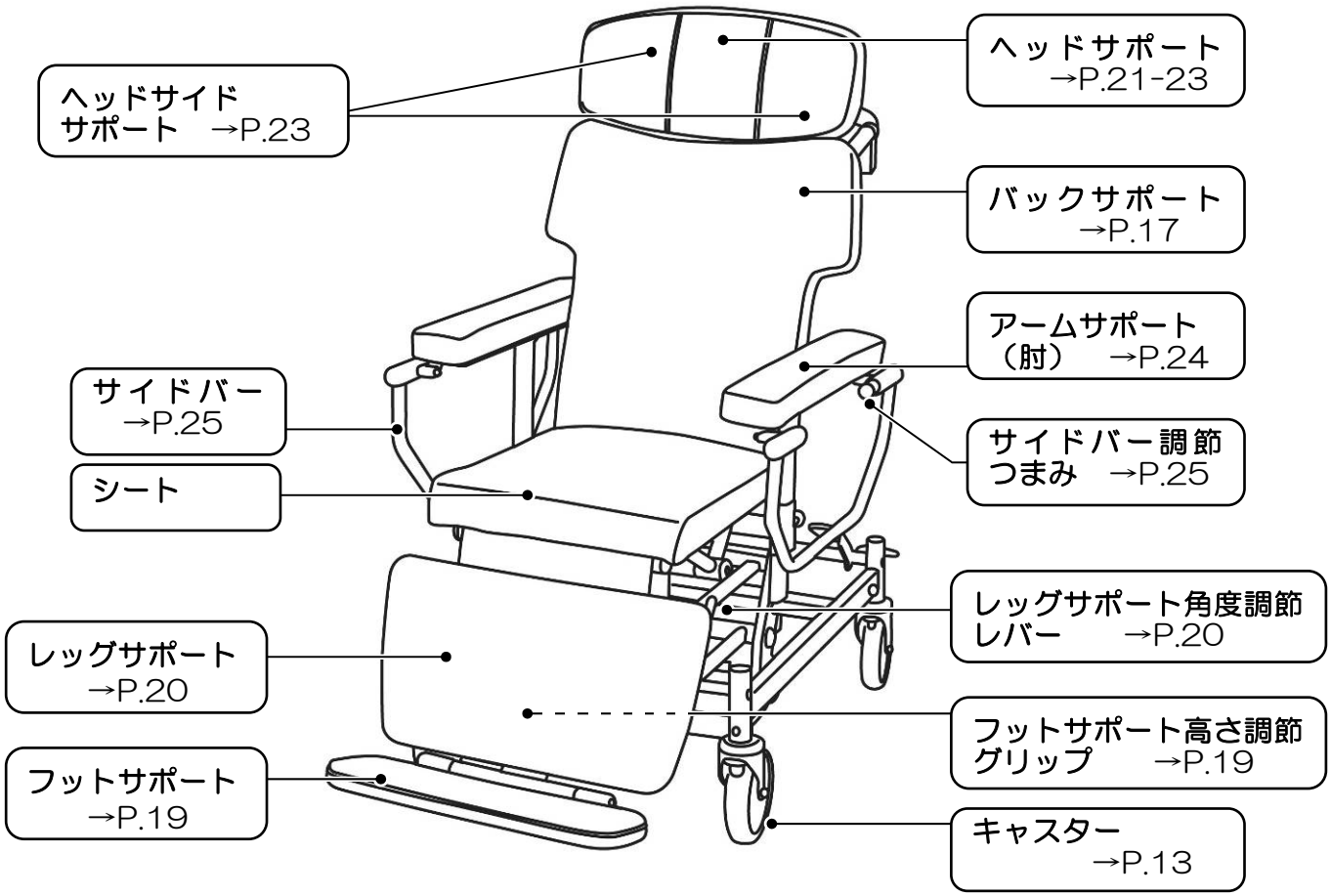
お手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから抜く

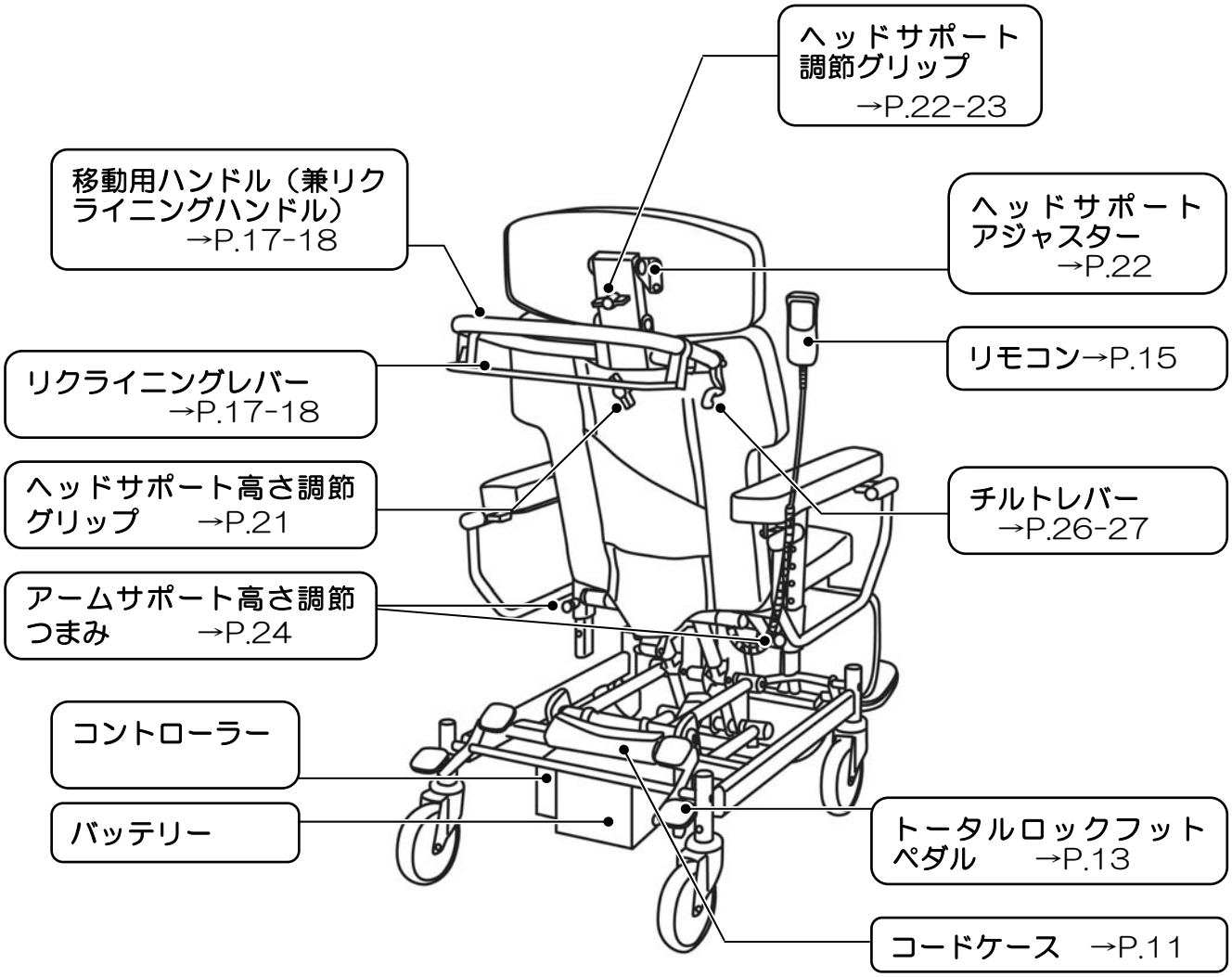
揮発性のもの（シンナー、ガソリン）などで絶対に拭かない

変色・変質の原因となります。

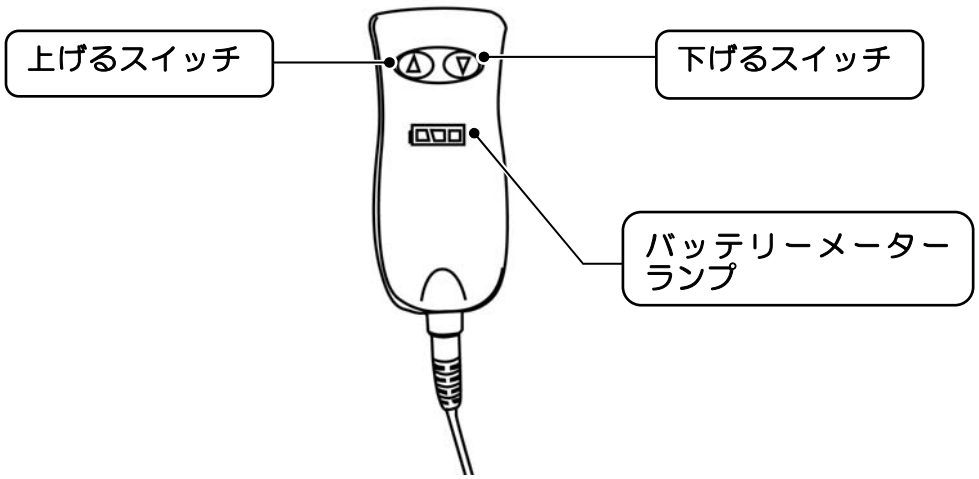
ご使用になる前に

各部の名称





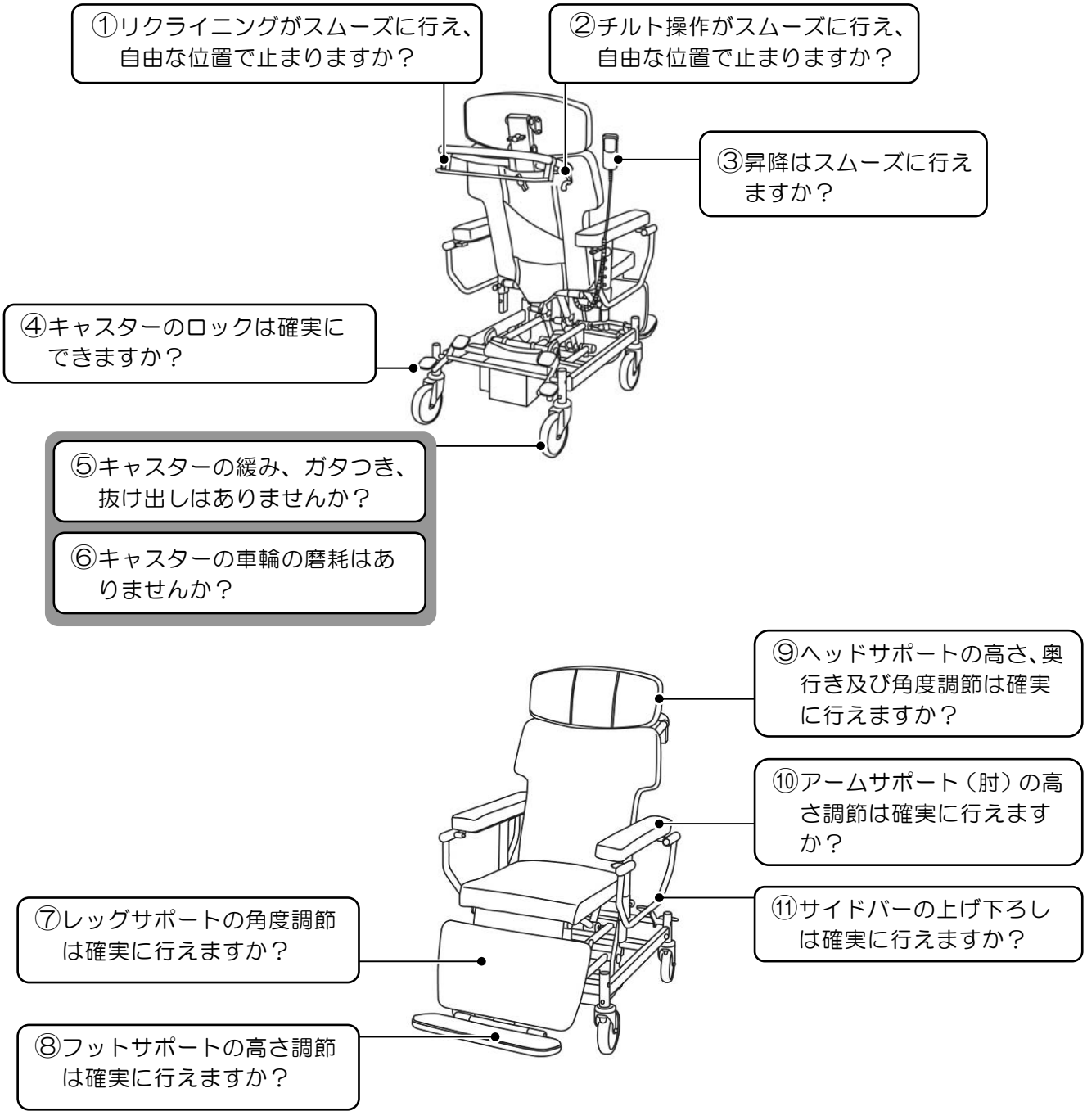
<u>リモコン</u>→P.15-16



ご使用になる前に

始業点検について

ご使用前に下記の始業点検項目にもとづき、始業点検を実施してください。



始業点検項目：着衣チェア（CBT-100）　　点検日　　年　　月　　日

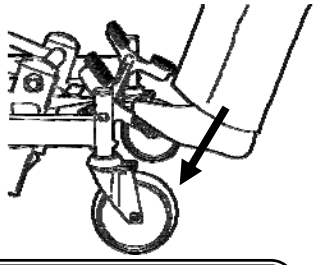
項目	点検内容	点検方法	チェック	備考
①	リクライニング	バックサポートの角度変更がスムーズに行え、自由な位置で止まるか確認	□OK・□ NG	(P.15 参照)
②	チルト機構	チルト機構の操作がスムーズに行え、自由な位置で止まるか確認	□OK・□ NG	(P.26 参照)
③	昇降動作	リモコンスイッチを押し、昇降時の動作及び異音の有無を確認	□ OK・□ NG	(P.15 参照)
④	キャスターのロック作動	キャスターストッパーを４輪ロック方向に踏んでキャスターの回転と首振りのロックを確認	□ OK・□ NG	(P.13 参照)
⑤	キャスターの緩み、ガタつき、抜け出し	目視及び、触って確認	□ OK・□ NG	
⑥	キャスターの車輪の摩耗	目視	□ OK・□ NG	
⑦	レッグサポートの調節	レッグサポートの**角度**調節が確実に行えるか確認	□ OK・□ NG	(P.20 参照)
⑧	フットサポートの調節	フットサポートの**高さ**調節が確実に行えるか確認	□ OK・□ NG	(P.19 参照)
⑨	ヘッドサポートの調節	・ヘッドサポート高さ調節グリップを操作し、**高さ**調節が確実に行えるか確認 ・ヘッドサポート調節グリップを操作し、**奥行き及び角度**調節が確実に行えるか確認	□ OK・□ NG	(P.21-23 参照)
⑩	アームサポート（肘）の調節	アームサポート（肘）の**高さ**調節が確実に行えるか確認	□ OK・□ NG	(P.24 参照)
⑪	サイドバーの操作	サイドバーの**上げ下ろし**が確実に行えるか確認	□ OK・□ NG	(P.25 参照)

またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。尚、故障中は故障した機器を誤って使用しないように、周囲の方が分かるように表示（故障中の貼り紙等）をお貼りください。

操作方法

キャスター

4輪ロック機能



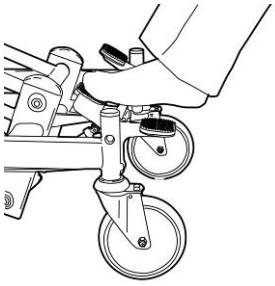
トータルロックフットペダルを下側一杯に踏み込むとロックします。

ストレッチャーから車椅子への変換時、移乗時等本体を止めたいときにご使用ください。

⚠警告　・キャスターは確実に固定する
・フットペダルのロック操作は必ず足で行う

⚠注意　走行中にキャスターのロック操作は行わない

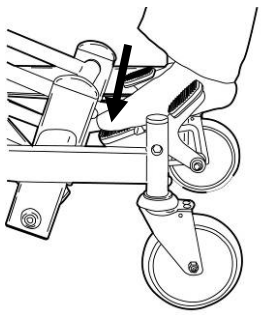
4輪フリー機能



トータルロックフットペダルを中間位置にすると、4輪フリー状態になります。

ベッドへの横付け、小回りさせたいときにご使用ください。

走行制御機能



ストレッチャー状態、車椅子状態を問わず、本体を走行させるときの走行安定性を上げる機能です。後輪 2 個のみに 3 つの機能があります。

トータルロックフットペダルを奥に踏み込み 1mほど後退または、前進させると、後輪 2 輪の首振りがロックされます。

ロックされたことを確認し、走行を行ってください。

操作方法

お願い

・床の横方向に傾斜がある場合は、必ず走行制御機能をご使用ください。4 輪フリーの状態では、本体を前に押しても傾斜方向に本体が走行し、思う方向にいけません。

・走行制御機能は、片方が前向き、もう一方が後ろ向きでもロックしてしまいます。もし、そうなってしまったときは、いちど、4 輪フリー機能を使いトータルロックフットペダルを自由にしてから、本体を後退または、前進させ、キャスターの向きを揃えてからロックしなおしてください。

⚠警告　以下のときは、キャスターを必ずロックする

・人を乗せ降ろすとき

・移動した後

・人が乗った状態で、介助作業（移乗、着衣、脱衣等）をするとき

・リクライニング操作、チルト操作を行うとき

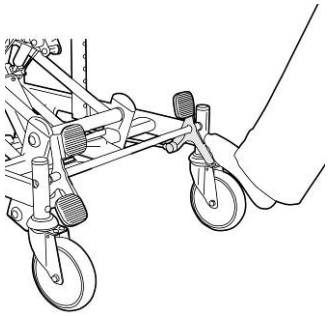
・昇降させるとき

操作方法

上昇・下降

移乗の際、ベッドや担架などに合わせシート面の高さを調整する事が出来ます。

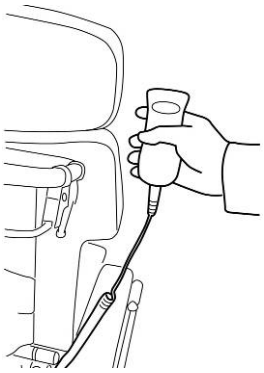
1. トータルロックフットペダルを確実に踏み込み、
本体を止めます。



⚠警告　キャスターがロックしていることを確認

2. リモコンで、上げる場合は▲ボタンを押します。
下げる場合は▼ボタンを押します。

・押している間は動きます。指を離すと停止します。



⚠警告
- **昇降中は乗っている人や本製品の回りに十分注意**
- **本製品の前後に十分な間隔があることを確認する**
  昇降時…シート、バックサポート、レッグサポートが足に対して頭側に最大 150㎜ 動きます。
  下降時…足側に最大 150㎜ 動きます。
- **下降時は、下空間に人や物が入りこんでいないか十分に確認する**
- **車椅子状態での搬送は、昇降の最低位置で行う。ストレッチャー状態での搬送は、極力低い位置で行う**

お願い

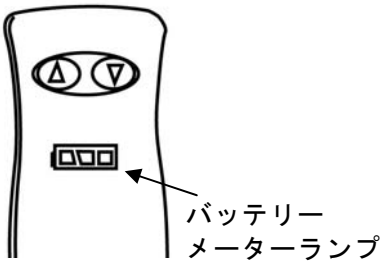
上下昇降を連続して２分間以上しないでください。連続して上下昇降を行った場合は、十分に休止時間をとってください。（２分間連続稼動時、約 18 分の休止が目安です）

操作方法

充電

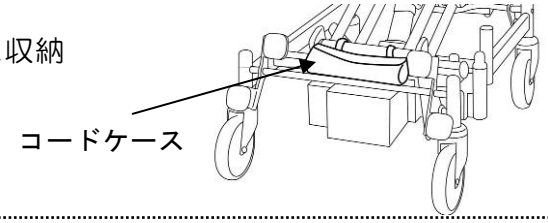
リモコンのバッテリーメーターランプがオレンジや赤に点灯したら、充電する必要があります。

バッテリーメーターランプは、リモコンスイッチを押したときに点灯します。

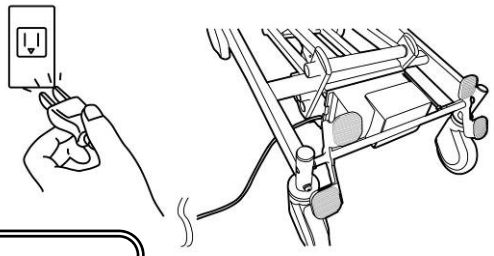


- **み ど り……バッテリー残量は十分です。**
- **オレンジ……バッテリー残量が少なくなっています。**
- **あ　　か……バッテリー残量がありません。**
  （同時にブザーが鳴ります）

・電源コードはコントローラー上のコードケースに収納されています。



1. 電源コードのプラグを AC/100V、アース付コンセントに差し込んでください。



⚠警告　・電源コードの被覆等に異常がないか確認する
・電源は必ずAC/100Vのコンセントを使用する
・感電防止のため、アースは必ず接続する
・アースは、次の所へは接続しない
・ガス管　・水道管　・避雷針　・電話線

参考

・満充電は、連続充電 8 時間が目安です。

・バッテリー残量が無くても、電源コードをつなげばすぐ昇降させる事ができます。

・充電はオレンジや赤ランプが点灯してから行った方がバッテリーの寿命を長く出来ます。但し、完全に放電してしまいますと、バッテリー寿命が短くなりますので赤ランプが点灯しましたら、ただちに充電を行ってください。

・長期間使用しない場合は十分に充電し、なるべく涼しい所に保管し、1 か月に一度は充電してください。自然放電が進むと、バッテリーの寿命が短くなることがあります。

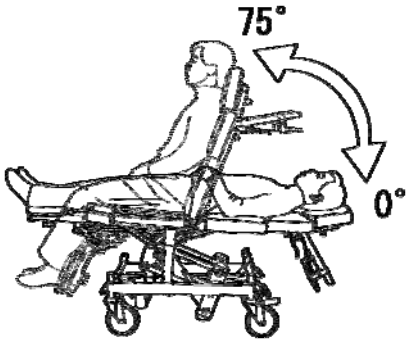
・満充電での昇降回数が半分程度になったら、交換時期とお考えください。

操作方法

リクライニング

バックサポート角度は、0°（水平状態）から、約 75°の間で、任意の角度で設定できます。

バックサポートの角度変更に伴い、レッグサポート角度が連動して動きます。

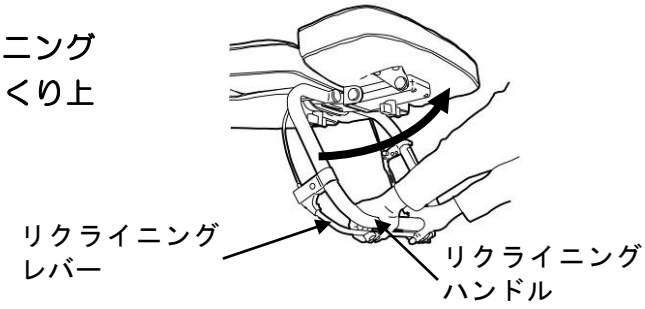


⚠警告　・操作前に必ずキャスターがロックしている事を確認する
・操作中は、周囲の人や乗っている人に十分注意する

⚠注意　すべての操作は、事前に乗っている人に声をかけて、ゆっくり行う

ストレッチャーから車椅子に変換する

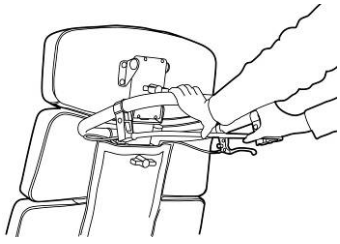
1. 両手でリクライニングハンドルとリクライニングレバーを図のように同時に握りながら、ゆっくり上側に持ち上げます。



⚠警告　操作は必ず両手で行う

⚠注意　フットサポートを伸ばした状態で使用していたら、操作前に最短位置まで縮める

2. 止めたい位置で、リクライニングレバーから手をはなします。

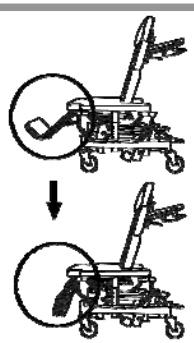


⚠注意　レバーをはじくように、はなさない

操作方法

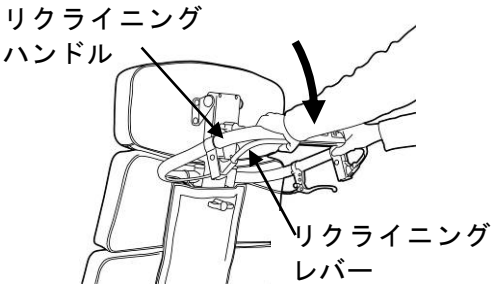
車椅子からストレッチャーに変換する

1. 以下の調節部を動かしている場合、元へ戻します。
- ・チルト機構を戻します。
- ・レッグサポート角度を下げます。
- ・フットサポート角度を折りたたみます。
- ・ヘッドサポート高さを最下端まで下げます。



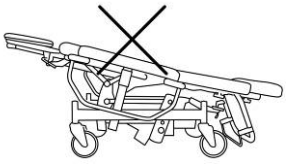
⚠警告　車椅子からストレッチャーに変換する前に、以下を確認する
- **・チルト機構が元に戻っていること**
- **・レッグサポート角度が下がっていること**
- **・フットサポート角度が折りたたまれていること**
- **・ヘッドサポート高さが最下端まで下がっていること**

2. 両手でリクライニングハンドルとリクライニングレバーを図のように同時に握りながら、リクライニングハンドルをゆっくり下側に押しつけます。

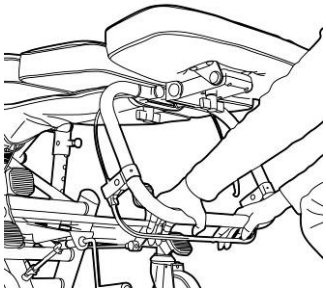


⚠警告　・操作は必ず両手で行う
- **・動作範囲に人がいないことを確認**

チルト機構が戻っていない（頭下がりの状態になる）とわかったら、ただちに操作を中止し一度椅子の状態にして、チルト機構を戻します。



3. 止めたい位置で、リクライニングレバーから手をはなします。



⚠注意　レバーをはじくように、はなさない

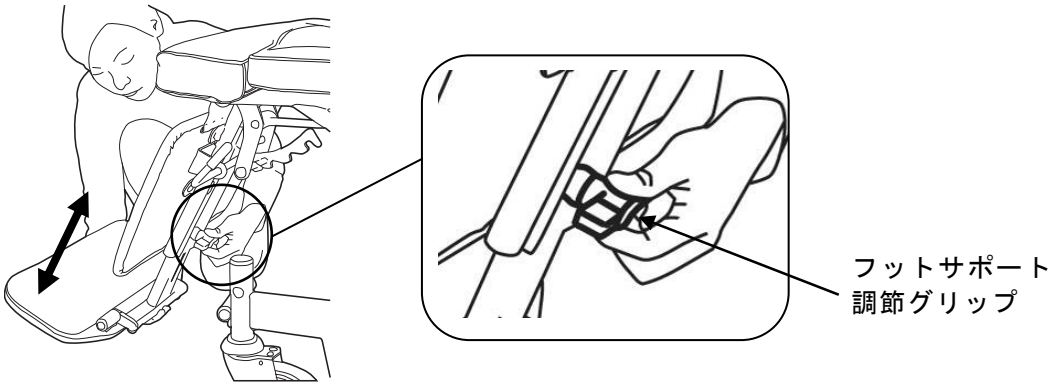
操作方法

フットサポートの調節

乗っている人の体格に応じて、フットサポートの高さを調節する事ができます。
（梱包時、フットサポートは一番縮んだ状態で梱包されています。）
ストレッチャーにしたときの０°と、足置き状態で使用する 90°の２種類の使用方法があります。

フットサポートの高さ調節

1. 片手でフットサポート側を下側から支え、もう一方の手でフットサポート高さ調節グリップをゆるめ、ゆっくり押し上げ（下げ）ます。

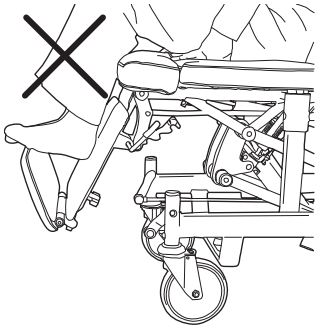


⚠警告　上下操作は必ず両手で行う

2. 高さが決まったら、グリップを強く締めます。

⚠注意　ストレッチャーから車椅子に変換する際、最短位置まで縮める

⚠警告　フットサポートは0°と90°の中間点で使用しない



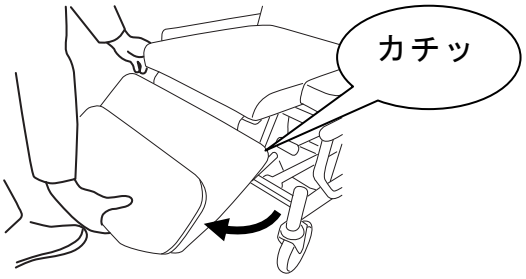
操作方法

レッグサポートの調節

角度を上げる

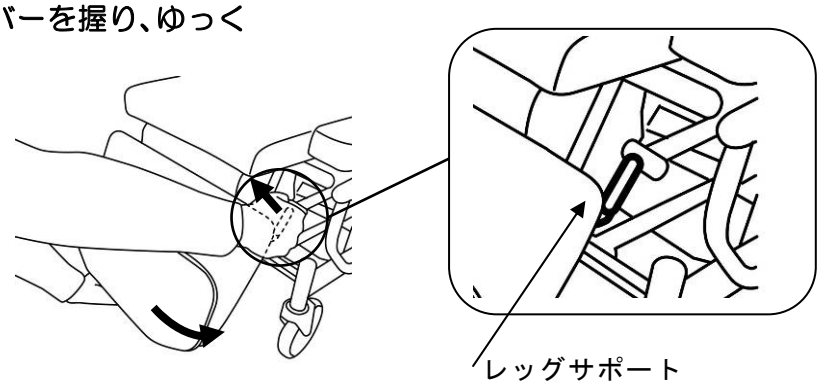
1. フットサポート先端部を下側から支え、そのままカチッと音がするまでゆっくり引き上げます。

・４段階の調節が出来ます。



角度を下げる

1. 片手でフットサポートを支え、少しフットサポートを持ち上げながら、もう片方の手でレッグサポート角度調節レバーを握り、ゆっくり下げます。



⚠警告　角度操作は必ず片手でフットサポートを支えた状態で行う

⚠警告　車椅子からストレッチャーに変換する前に、角度を必ず下げる

お願い

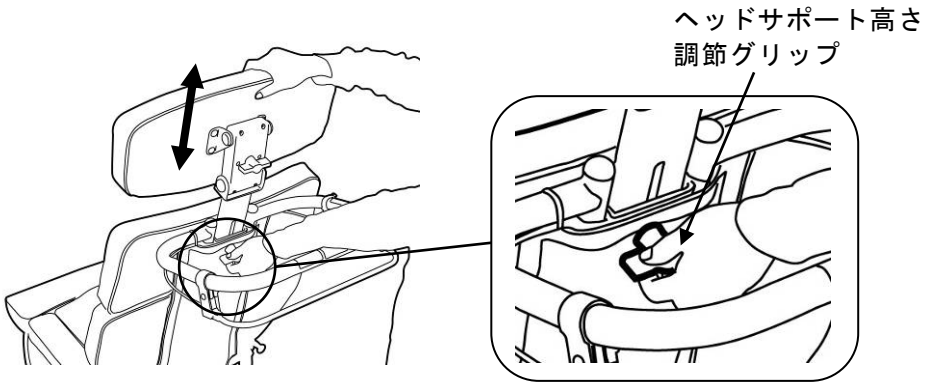
フットサポートを伸ばした状態でレッグサポートの角度を下げると、フットサポートが床に接触することがあります。その場合、フットサポートを縮めてからレッグサポートの角度を下げてください。

操作方法

ヘッドサポートの調節および取り外し

高さの上下調節

1. ヘッドサポート本体を持ち、片方の手で、ヘッドサポート高さ調節グリップをゆるめ、ゆっくり引き上げ（下げ）ます。



⚠注意　上下操作は必ずヘッドサポートを支えて行う

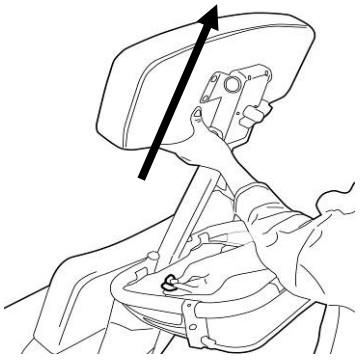
2. 高さが決まったら、グリップを強く締めます。

⚠注意　グリップを締めるまで、手を離さない

取り外し

1. ヘッドサポート本体を持ち、片方の手でヘッドサポート高さ調節グリップをゆるめます。

2. ヘッドサポート本体をゆっくり引き上げ、止まる位置まできたら、さらにグリップをゆるめ、グリップを押しながら、そのままヘッドサポートを上に引き上げると、取り外すことができます。



⚠警告　車椅子からストレッチャーに変換する前に、必ず最下端に下げる

お願い

・ヘッドサポートを元に戻すときは、高さ調節グリップがいっぱいにゆるんでいることを確認してください。

・ヘッドサポートを元に戻したときには、高さ調節グリップを締めてください。

奥行きおよび角度調節

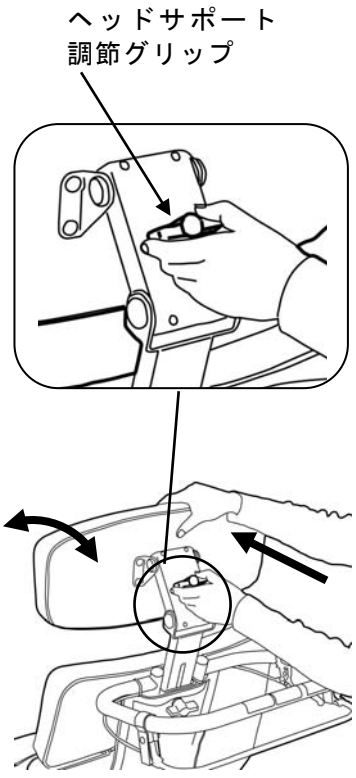
1. 片手でヘッドサポートを押さえ、もう片方の手でヘッドサポート調節グリップをゆるめます。

2. ヘッドサポートを前方に押し出す様にしながら位置を調節します。

・ヘッドサポートアジャスターは、奥行きと角度の双方を一度に調節できます。

3. ヘッドサポートの位置が設定出来ましたらヘッドサポート調節グリップを強く締めます。

・奥行きと角度の調節は高さ方向の調節を併用して乗っている人の体型に合わせてください。

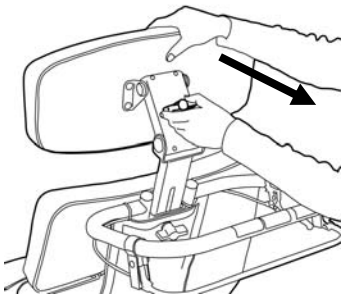


⚠注意　グリップを締めるまで、ヘッドサポートを押さえた手を離さない

奥行きおよび角度調節を元の位置に戻す

1. ヘッドサイドサポートを元の平らな状態に戻します。

2. 片手でヘッドサポートを押さえもう一方の手でヘッドサポート調節グリップをゆるめます。ヘッドサポートをゆっくり後方に持ち上げるようにして元の位置に戻します。



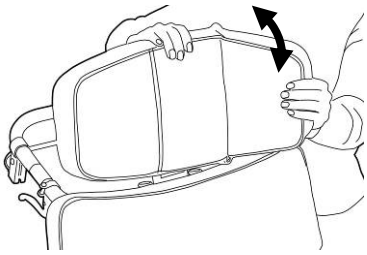
3. ヘッドサポートが元の位置にもどりましたらヘッドサポート調節グリップを強く締めます。

お願い

ヘッドサポートの奥行きと角度を調節し、更に高さ方向を最低位に調節した場合、ヘッドサポートを少し上げてから奥行き角度調節を元の位置に戻し最後に高さを元の位置（最低位）に戻してください。

ヘッドサイドサポートの調節

1. 片手でヘッドサポートの中心部を押さえます。



2. 前方に出すときは、片方ずつゆっくり椅子の前方向に押し出すように折り曲げます。

3. 元の位置に戻すときは、片方ずつゆっくり椅子の後方に引くように戻します。

操作方法

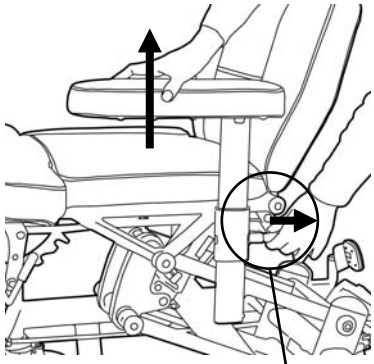
アームサポート(肘)の調節

アームサポート（肘）は、ストレッチャー状態での乗っている人の安全確保（落下防止柵）の機能と、体位保持するための２つの機能があります。使用目的に合わせて高さ調節を行ってください。

上げる

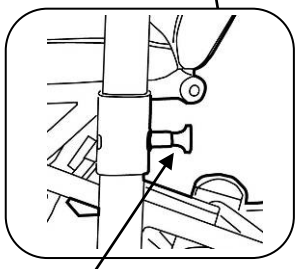
1. 片手でアームサポート（肘）を持って、もう片方の手でアームサポート高さ調節つまみを引いて、高さを変えます。

・高さは 7 段階で調節ができます。



2. 高さを変え、希望の高さ付近になったらアームサポート高さ調節つまみから手を離し、アームサポート（肘）を調節します。

・つまみの先端がカチッと穴に入って、固定されます。

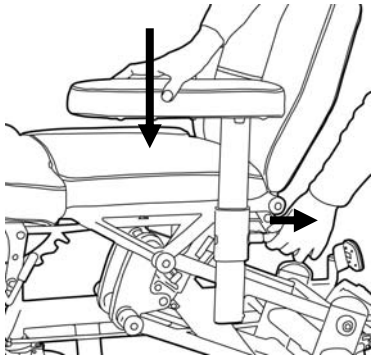


アームサポート
高さ調節つまみ

下げる

1. 片手でアームサポート（肘）を持って支え、もう片方の手でアームサポート高さ調節つまみを引き、ゆっくりアームサポート（肘）を下げます。

2. 高さを変えたらアームサポート高さ調節つまみを戻します。



⚠注意　・アームサポート（肘）を持って支え、高さ調節つまみを引く
・アームサポート（肘）を調節するときは、パイプや穴にさわらない

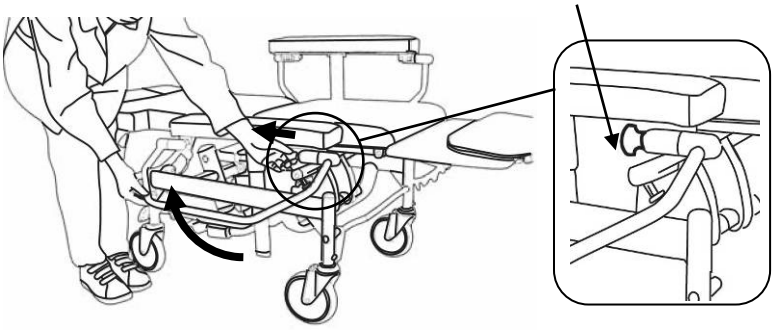
操作方法

サイドバーの調節

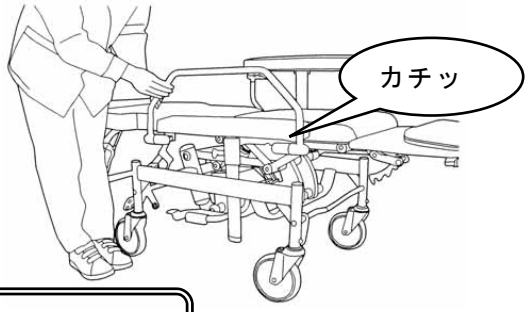
⚠注意　・サイドバーの上に座らない
　　・サイドバーのみを持って搬送しない

上げる

1. サイドバー調節つまみを引き、もう片方の手でサイドバーを上げます。



2. カチッと音がして固定される位置まで上げます。

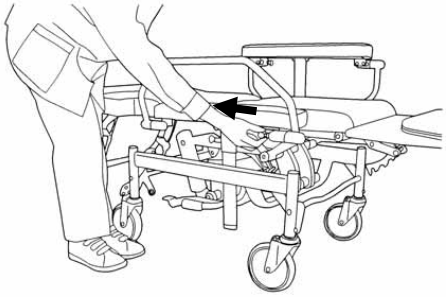


⚠警告　ストレッチャー状態の時は必ずサイドバーを上げる

⚠注意　確実に上がり固定していることを確認する

下げる

1. サイドバーを支えながら調節つまみを引き、下ろします。



⚠注意　手指の挟みこみに注意

操作方法

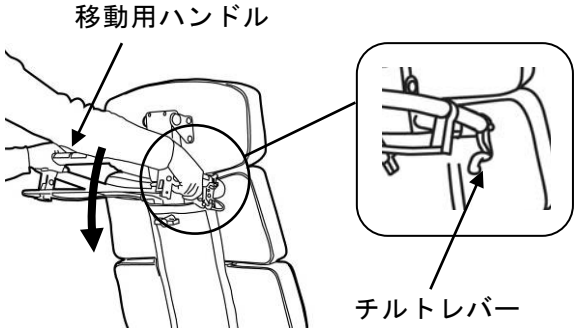
チルト機構

この機能は、乗っている人の座り心地や座位の安定性を良くする為の機能です。

> ⚠警告　**・操作前に必ずキャスターがロックしている事を確認する**
> **・操作は必ず両手で行い、周囲の他、乗っている人に十分注意する**
> **・車椅子からストレッチャーに変換する前に、チルト機構を必ず元の位置に戻す**

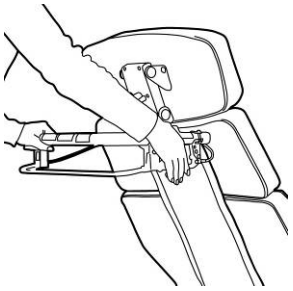
チルト機構を使う

1. 両手で移動用ハンドルとチルトレバーを図のように同時に握りながら、移動用ハンドルをゆっくり下側に押しつける様にします。



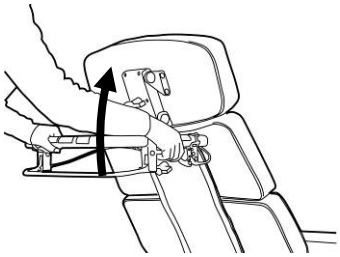
2. 好みの角度になりましたら、チルトレバーからゆっくり手をはなします。

・作動角度は、後方に 15° の範囲内で無段階に止めることが出来ます。

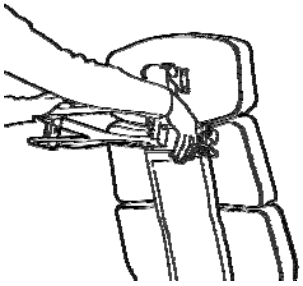


チルト機構を元に戻す

1. 両手で移動用ハンドルとチルトレバーを同時に握り、移動用ハンドルをゆっくり止まるまで引き上げます。



2. 好みの角度になりましたらチルトレバーから手を離します。



操作方法

脱衣･着衣作業

●本製品は、傾斜がきつい場所や、排水口の上は避けて停めてください。

●本製品上で体位変換を行う場合は、必ず介助の反対側のサイドフェンスを起こし、入浴者の落下等に注意しながら作業してください。

●着衣作業などで、入浴者を側臥位にする場合は、転倒を予防するために、サイドバーを腰で押さえるようにして作業してください。

⚠警告
- **移乗方向（頭と足の向き）を間違わない**
- **介助作業をするときはキャスターを必ずロック**
- **移乗・着脱衣作業時は、入浴者の落下に注意**
- **ストレッチャー時、ヘッドサポート部およびレッグサポート部に絶対に腰掛けない**

⚠注意　濡れた身体のままの移乗は極力しない

日常のお手入れ

お手入れ

本製品への水分の付着や湿気は、さびや異音の原因になりますので避けると共に、付着した場合には直ちに拭き取るようにしてください。

⚠注意　お手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから抜く

清掃

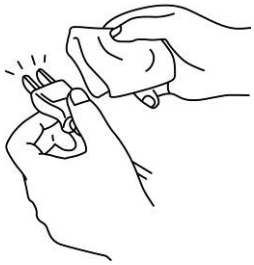
水で薄めた中性洗剤にひたした布を、よく絞ってから使用してください。

清掃後は、乾いた布で拭き取ってください。

⚠注意　変色・変質の原因となるため、揮発性のもの（シンナー、ガソリン）などで絶対に拭かない

電源コードのプラグは、定期的に点検してください。

プラグを半年に一回、乾いた布で刃およびその取り付け面を拭いてください。電源プラグにホコリが付着していたり、コンセントにしっかり差し込まれていないと感電や火災の原因になります。



このようなときは

まずは、次の内容を確認していただき、なお異常があるときは最寄りの営業所までご連絡ください。

	このようなときは	ここを確認してください	参照ページ
移動	移動できない	●**キャスターがロックされていませんか？** →キャスターロックを解除してください。	P.13
角度調節	リクライニング操作ができない	●**ワイヤーケーブルのトラブル** ●**操作レバーのトラブル** →最寄りの営業所にご連絡ください。	P.17
		●**レッグサポート角度が上がったままになっている** →角度を下げてください。	P.20
	チルト機構がうまく作動しない	●**ワイヤーケーブルのトラブル** ●**操作レバーのトラブル** →最寄りの営業所にご連絡ください。	P.26
充電	充電できない	●**バッテリーの電圧降下** →バッテリーを交換してください。 交換は最寄りの営業所にご連絡ください。	
		●**電源コードの断絶** →電源コードを交換してください。 交換は最寄りの営業所にご連絡ください。	

このようなときは

このようなときは		ここを確認してください	参照ページ
昇降	昇降できない	●昇降範囲が上限又は下限まできていませんか？ →リモコンの押しボタンの方向を確認してください。	P.15
		●バッテリーの充電が不十分ではありませんか？手元ボタンを押すとメーターランプが赤く点灯し、ブザーが鳴りますか？ →バッテリーを充電してください。	P.16
		●最大荷重以上の負荷がかかっていませんか？ →体重 100kg 以上の人を乗せて昇降することはできません。	P.3
		●連続的に昇降（連続運転）させていませんか？ →20 分程操作を止めて、もう一度昇降の操作をしてください。	P.15
	昇降できる回数が減少した	●バッテリーの消耗 →昇降回数が購入時の半分程度になりましたらバッテリー交換時期です。 交換は最寄りの営業所にご連絡ください。	P.16
	昇降時、異音がする 昇降速度が異常に遅くなった	●電動アクチュエータの寿命 →直ちに使用を中止し、最寄りの営業所にご相談ください。	

・その他、ご不明な点につきましては最寄りの営業所にご相談ください。
・ご使用中万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

機器について

保守・点検

・本製品を使用する際は、機器の管理者の方が P.11～12 の点検項目に基づき、必ず始業点検（日常点検）を実施してください。
・長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
・点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
・清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

● 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは別添の「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

保証書と保証期間

- 保証書(別添)は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
  保証書がないと保証期間中でも有償修理とさせていただく場合があります。
- 保証期間は 1 年です。保証の規定につきましては保証書をご覧ください。

修理をご依頼いただく場合

・修理をご依頼いただく場合は、下記のことをお知らせください。

機種名　　：　*CBT-100*
お買い上げ：　　年　月　日
故障状況(できるだけ詳細に)
住所、氏名、電話番号

・メーカーより指示のあるとき以外は、機器を分解しないでください。

機器について

耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

損耗品　（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。

キャスター
バッテリー

損耗品の交換時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

保守用性能部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

機器について

仕様

名　　称		着衣チェア
型　　式		CBT-100
外形寸法 (L×W×H)	車椅子時	1200×630×1160～1440 ㎜
	ストレッチャー時	1560～1840×630×1160～1440 ㎜
シート面高		480～760 ㎜
シート幅		400 ㎜
質　　量		58ｋｇ
使用可能体重		100ｋｇ以下
材　　質	フレーム	スチール・一部粉体塗装仕上
	シート	塩化ビニール（表生地）
駆動方式（昇降）		電動アクチュエーター方式:DC24V（バッテリー仕様）
機能構成		ヘッドサポート （高さ調節式：0～180 ㎜、奥行き・角度調節付） ヘッドサイドサポート機構 バックサポートリクライニング（0°～75°） アームサポート（肘）（高さ調節式：７段階） サイドバー レッグサポート（角度調節式：４段階） フットサポート（高さ調節式：0～100 ㎜） チルト機構（シート角度 0°～15°） キャスター（φ150 ㎜、トータルロック付） 昇降機能（ストローク 280 ㎜） リモコン（バッテリーメーターランプ付） コントローラー（バッテリー・充電用電源コード付） （バッテリー容量:24V×2.9AH）

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。